



イトマン
奈良ブロック
新聞

ヘルパークラスでは何を 学べるようになるんだろ？

ここがポイント！！

其の1

1人の自立した大人になるための
社会的ルール・マナーの
基礎を身につける

其の2

25級～20級

水なれから始まり
水中での呼吸動作、浮く・進むなど
泳法技術習得のための
基本動作を身につける



できることから始めよう!!

～これができたらこんな力が身につく～



- ①トイレから出てきて
使ったサンダルをキレイに整える
→次に使う人のために整える
→**他人を思いやる心**
- ②プールに来たら先生とお友達に
大きな声で挨拶をする
→自分から挨拶をする
→**コミュニケーションが
上手に取れるようになる**
- ③ヘルパーを外す練習の時はどうするか
→おいておくべき場所がわかる
→**整理整頓癖をつけられる。**

自立をするためには、まず他人とのコミュニケーションをとることが大切です。
成長をしていくにつれて友達の数が増え、年齢の異なる人との関わりも増えていきます。
学校生活や、将来就職し有意義に働くためには**良い人間関係を築く力**が重要です。
ヘルパークラスでは、まず**“他人との距離の取り方”**や**“他人を思いやる気持ち”**を育てていきます。
家に帰りプールのお話をする時に『今日は誰と遊んだの？』『〇〇くんとどんなお話をしたの？』や
『先生はどんなお話をした？』などと
一番身近にいる**“お父さん”**と**“お母さん”**が他人に興味を示せるように導いてあげてください。
誰よりもお子さまに近い存在の**“お父さん”**と**“お母さん”**から他人のお話を聞くことで、
“友達”に興味を持ち積極的にコミュニケーションが取れるようになっていきます。

水泳って脳に良いんです！



○脳は、刺激を受けることで発達していきます！この刺激は、主に運動することで受けることができます。

6歳までの子供は暮らしていくなかで経験する、すべてのことが脳内で爆発的な科学的活動変換されます。
そして、6歳までに脳のほとんどが出来上がります。
『そうなる前の段階で、その子の将来を考えて、才能を開花させるための畑(脳)を作ることが大切である』とされています。

○空間認知能力の発達

空間認知能力とは・・・三次元の空間において人や物の位置や関係を把握する能力です。空間認知能力がある事で、キャッチボールやサッカーなどのスポーツを行うことや、地図や図面から実際の地形や建物を理解することができるようになります。空間認知能力が弱ってしまうと**「物にぶつかる」、「躓いたり転んだりしてしまう」、「運動やスポーツが苦手」、「迷子になりやすい」、「漢字などの文字が正しく書けけない」、「立体を把握するのが難しい」**等があり、怪我や痣を作ってしまうことが多くなります。勉強面では、算数の図形問題が得意になるなど脳科学の分野にて実証されてきています。